

ご挨拶

日本バルカー工業株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

瀧澤 利一



平成28年の初春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、わが国経済は前半には企業収益の改善を反映して設備投資の増加傾向が持続するとともに、個人消費においても一部で回復に向けた動きがみられましたが、後半に入りやや勢いが鈍化し一部の経済指標で弱含みの数値が示されるようになりました。

海外経済では、米国は概ね拡大傾向を示しておりますが、中国をはじめとする新興国で成長の鈍化がみられ、更に地政学的問題の増加や通貨危機の再燃など、グローバル経済全体に悪影響を及ぼしました。

こうした状況の中、当社は2015年度から開始しました第7次中期経営計画「New Valqua Stage Seven」を基軸に、製品とサービスの品質向上を図るとともに、“選択と集中”を推進することで持続的成長に向けた基盤の確立に努めてまいります。当社は、創業より現在にいたるまで、シール技術をリードするメーカーとして、どのような製品・サービスを提供することが本当の顧客価値となるか常に考えてまいりましたが、そのような取り組みの一例として、より実践的で効果的な「シールエンジニアリング」の体験の場を実現し、皆さまに安全と安心をお届けしてまいります。これからも、様々な産業分野でのビジネスニーズに対して真の顧客価値を提供するために、製品だけでなく情報やサービスなどを包含したソリューションを新たな視点でスピーディーに継続的に開発・提供し続けてまいります。また、製品からサービスソフトにわたる、トータルとしてのH&Sバリューチェーンをあらゆる角度から見直し、さらなる顧客満足度の向上に努めてまいります。

さて、今回の本誌で取り上げました「エラストマー製品」は、自動車や半導体分野に対して豊富な供給実績があり、今後は宇宙ロケットや地中掘削など過酷な環境に需要の拡大が予測される製品群です。このエラストマー製品の材料物性や使用方法など全般にわたり、特に当社として顧客価値の高いソリューションを提供できる製品群の一つであり、今回の特集として取り上げることといたしました。

最後になりましたが、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げますとともに、読者の皆さまの益々の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。